観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月２３日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･(地域ＤＭＯ)	
観光地域づくり法人の名称	鴨川観光プラットフォーム株式会社	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	千葉県鴨川市	
所在地	千葉県鴨川市横渚１４５９番地５	
設立時期	2014 年　5 月 1 日　合同会社鴨川観光プラットフォーム　発足 2017 年 11 月 21 日　鴨川観光プラットフォーム株式会社（組織変更）	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	15 人【常勤 10 人（正職員 8 人・嘱託 2 人・出向等 0 人）、非常勤 5 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 鈴木健史 （出身組織名） 株式会社鴨川グランドホテル	(一社)鴨川市観光協会理事(前会長)として、地域の様々なパイプ役となっており、在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー）	（氏名） 田村美和子「専従」 （出身組織名） ひらいリゾート株式会社	情報の収集分析について、高い知見と能力、豊富な経験を持ち、情報発信並びに情報集収集・分析を行う。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 刈込信道「専従」 （出身組織名） 株式会社ホテル紅や	鴨川市議会議員並びに長年観光業に従事した経験を持ち、当社取締役事業統括として、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
ＤＭＯ企画部門プロモーションの責任者（専門人材）	（氏名） 嶋津彰一 （出身組織名） 館山市役所	館山市役所で長年商工観光関連の部署に在籍した経験と豊富な人脈を活かすとともに、国内旅行業務取扱管理者の視点からプロモーションを行う。
事業部門旅行商品の造成･販売の責任者（専門人材）	（氏名） 近藤佳世 （出身組織名）	総合旅行業務取扱管理者の資格を持ち、旅行商品の造成・販売に関して幅広い知見と能力を持ち、予約手配や受入業務を行う。

様式１

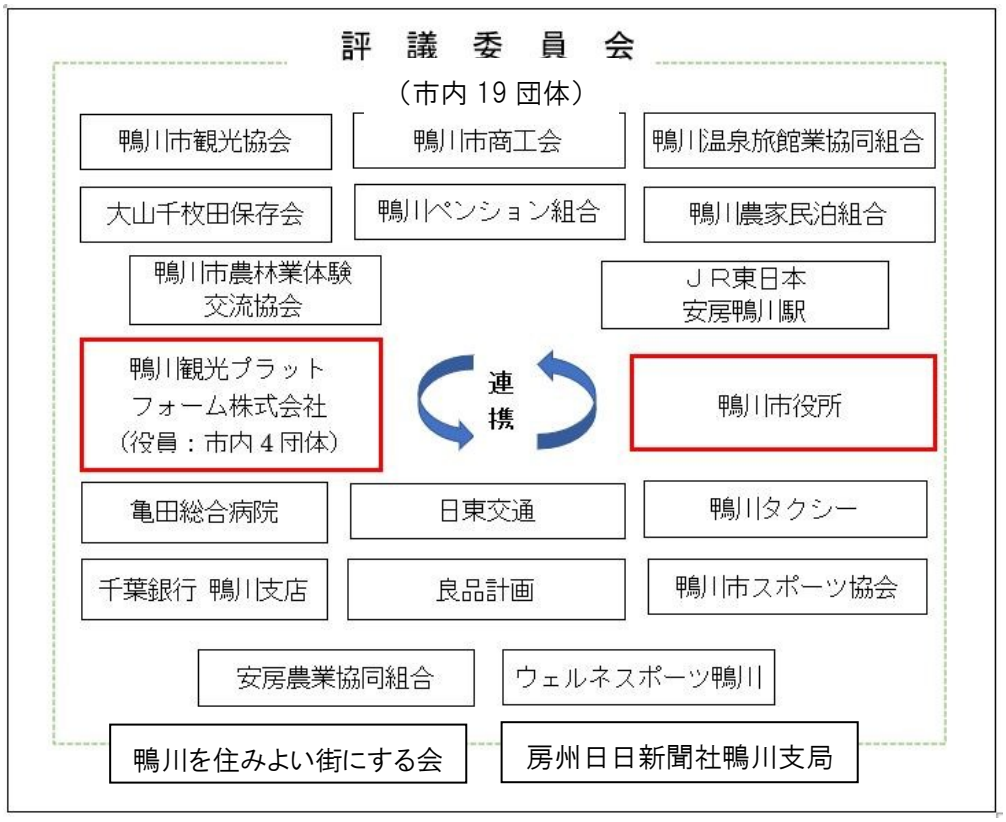
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	千葉県鴨川市 商工観光課（事業戦略、予算確保、業務委託、観光プロモーション、 　イベント企画、海水浴場開設、案内看板整備、駐車場整備、広域連携） 農林水産課（農業振興　農地の維持保全） スポーツ振興課（スポーツツーリズム） 企画政策課（公共交通、二次交通整備、移住定住促進） 都市建設課（道路整備、公園整備） 学校教育課（学校交流） 生涯学習課（文化財の保存活用） 環境課（ごみ処理、海岸清掃） 管財契約課（公共施設の活用） 市民生活課（姉妹都市交流、国際交流）
連携する事業者名及び役割	(一社)鴨川市観光協会（事業戦略、イベント実施、観光プロモーション、 　評議委員） 鴨川市商工会（事業戦略、物産プロモーション、評議委員） 鴨川温泉旅館業協同組合（事業戦略、共通宿泊券事業、評議委員） ＮＰＯ法人大山千枚田保存会（教育旅行、各種体験、評議委委員） (一社)鴨川市農林業体験交流協会（教育旅行、各種体験、評議委員） 鴨川農家民泊組合（教育旅行、評議委員） 鴨川ペンション組合（教育旅行、評議委員） 東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅（観光プロモーション、評議委員） 日東交通株式会社 鴨川営業所（連携事業、評議委員） 有限会社鴨川タクシー（連携事業、評議委員） 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院（医療ツーリズム、評議委員） (一社)ウェルネスポーツ鴨川（スポーツツーリズム、評議委員） 鴨川市スポーツ協会（スポーツツーリズム、評議委員） 千葉銀行鴨川支店（評議委員） 株式会社良品計画 無印良品みんなみの里（評議委員） 安房農業協同組合（評議委員） 房州日日新聞社（情報発信、評議委員） 鴨川を住みよい街にする会（評議委員）
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】② （概要）鴨川市、鴨川市観光協会、鴨川市商工会、鴨川温泉旅館業協同組合、特定非営利活動法人大山千枚田保存会のほか、宿泊事業者、体験事業者、交通事業者、金融機関、市民活動団体など計１９団体が参加し、本法人が事務局を務める評議委員会を設置している。 〔参考〕登録要件 ①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画している。している。 ②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置している。

様式１

<table>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>地域住民や市内事業者を対象とした、観光客（インバウンドを含む）受け入れに向けた各種情報を配信している。
観光・地域情報発信を目的とした機関誌の発行事業に参加している。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・旅マエ、旅ナカ各観光情報サイト運営
・X、Instagram、Facebook　他 SNS を通じた情報配信
・インバウンド向け情報サイト「visitkamogawa」運営
・観光情報紙「カモ旅 Plus」発行
2024 年度実績：発行部数 18,000 部×2 回
・プロモーション用冊子（鴨川市総合パンフレット）
観光ポスター及び観光 PR 用ノベルティの作成及び配布
・来訪客アンケート調査から配信希望が多い「釣り情報」に関して、地元新聞社協力を得て定期配信システム構築
・イベント等に関しての情報一括配信</td></tr>
<tr><td>受入環境の整備</td><td>・令和 3 年度 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業
地域代表団体として事業推進
採択事業費：　379,897,204 円
決定補助額：　200,090,000 円
・令和 4 年度 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業
地域代表団体として事業推進
採択事業費：1,061,326,714 円
決定補助額：　542,188,169 円
・令和 4 年度 既存観光拠点再生・高付加価値化事業
地域代表団体として事業推進
採択事業費：　201,213,283 円
決定補助額：　 91,800,000 円
・令和 5 年度・令和 6 年度 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業
地域代表団体として事業推進
採択事業費：2,008,600,000 円（地域採択時）
決定補助額：1,207,142,859 円（令和 5 年度）
決定補助額：　399,372,546 円（令和 6 年度）</td></tr>
<tr><td>観光資源の磨き上げ</td><td>・令和 3 年度 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業
新たな観光素材創生及び認知拡大対応ツアー実証実験
「鴨川ウォールアート事業」
・令和 4 年度 地域観光新発見事業
インバウンド推進のためのモニターツアー実証実験
「宿坊宿泊＋修行体験 外国人対象モニターツアー」</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

	【定量的な評価】 観光情報サイトアクセス数 2019 年　 79,740PV 2020 年　553,737PV 2021 年　562,392PV 2022 年　729,798PV 2023 年　561,639PV 2024 年　551,080PV ふるさと納税事業（寄附額） 2019 年　401,314,426 円（台風 15 号災害支援　40,896,844 円含む） 2020 年　370,253,850 円 2021 年　441,531,300 円 2022 年　446,640,666 円 2023 年　505,785,500 円 2024 年　597,961,000 円

様式１

実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** 本法人は、観光地域づくり法人として登録申請を行うために、鴨川市、鴨川市観光協会、鴨川市商工会、鴨川温泉旅館業協同組合、特定非営利活動法人大山千枚田保存会等が出資して設立された第三セクターであり、各出資団体から取締役、監査役等の役員が選任され、取締役会を意思決定機関として組織運営を行っている。 さらに、上記出資団体のほか、宿泊事業者、体験事業者、交通事業者、金融機関、市民活動団体など計１９団体が参加し、本法人が事務局を務める評議委員会を設立し、ワーキンググループとして活動している。年に４回開催している評議委員会は、本法人の事業内容について説明し戦略を共有するほか、地域の関係者から幅広く意見を伺い、事業推進のための合意形成機関としての役割を果たしている。 また、観光、宿泊、体験、交通、医療など幅広い分野において、地域の関係団体と連携を図り事業を推進している。 **【実施体制図】** 

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

【区域設定の考え方】

千葉県鴨川市では、平成 23 年度に鴨川市全体で観光地域づくりに取り組むため、観光関連団体、商工関連団体、体験事業者、地元立地大学等と連携して「鴨川市観光プラットフォーム推進協議会」を組織した。

平成 26 年度、同協議会が事業を推進する中で、宿泊及び交通を伴う旅行業を取り扱う必要性が生じたことから、旅行業第 3 種登録事業者「合同会社鴨川観光プラットフォーム」を設立した。

平成 29 年度、鴨川市、鴨川市観光協会、鴨川市商工会、鴨川温泉旅館業協同組合、特定非営利活動法人大山千枚田保存会等が出資する第三セクターとして、首都圏からの旅行客受け入れやインバウンド推進のため旅行業第 2 種登録事業者「鴨川観光プラットフォーム株式会社」を設立した。

現在、本法人では、鴨川市観光協会、鴨川温泉旅館業協同組合、鴨川市商工会等に加盟する事業者等で使用することが可能な共通宿泊券・観光券を取り扱い、ふるさと納税の返礼品として提供しているほか、旅行業者としては主に、鴨川農家民泊組合、その他市内の各種体験事業者との連携により、国内外からの教育旅行の受け入れを行っている。

以上のとおり、本法人は鴨川市並びに市内関係団体との密接な関係によって設立され、事業を推進してきた経緯から、本市域をマネジメント・マーケティングする区域として設定している。

【観光客の実態等】

設定区域である千葉県鴨川市の観光入込客数は、2019 年 約 248 万人、2020 年 約 176 万人、2021 年 199 万人と、宿泊客数は、2019 年 約 69 万人、2020 年 約 49 万人、2021 年 約 50 万人と推移し、コロナ禍の影響を受けた。しかしながら、主に首都圏のファミリー層、ゆとりのあるシニア層をターゲットとして、観光庁による地域一体となって観光地・観光産業の高付加価値化に取り組む事業を積極的に活用し推進した結果、観光入込客数は、2022 年 約 253 万人、2023 年 約 269 万人と、宿泊客数は、2022 年 約 72 万人、2023 年 約 77 万人と推移し、回復傾向にある。
外国人宿泊者数についても、主に東南アジアからの教育旅行受入れ件数の伸びに伴い、2023 年 3,762 人、2024 年 6,768 人と推移し、回復傾向にある。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

【観光施設】
鴨川シーワールド、道の駅 鴨川オーシャンパーク、Kamogawa SEASIDE BASE
鴨川市総合交流ターミナル 里のＭＵＪＩみんなみの里、太海磯釣りセンター
ウォールアート、誕生寺、清澄寺

【商業施設】
イオン鴨川店、カインズホーム鴨川店、ベイシア鴨川店、クスリのアオキ鴨川店

【自然】
大山千枚田（日本の棚田百選、千葉県指定名勝）
前原・横渚海岸（日本の渚 100 選）
東条海岸（白砂青松百選）
仁右衛門島（千葉県指定名勝、新日本百景）
鴨川松島（新日本百景）
清澄の大スギ（国指定天然記念物）旭が森（日本の朝日百選）
四方木不動滝
鴨川の枕状溶岩（県指定天然記念物）
バクチノキ群生地（県指定天然記念物）

【文化】
日蓮ゆかりの寺社（誕生寺、清澄寺、鏡忍寺など）
波の伊八の彫刻
萬祝染め（千葉県指定伝統的工芸品）
太巻き祭り寿司（千葉県郷土料理）

【スポーツ】
日本サーフィン発祥の地（1965 年 日本初のサーフィン大会開催）
オルカ鴨川ＦＣ（南房総初の女子サッカーチーム　なでしこリーグ 1 部 2023 年優勝）

【イベント】
鴨川市民花火大会（7 月）
連夜の花火 in 天津小湊（8 月）
日蓮のあかり（8 月）
棚田のあかり（10～1 月）
菜な畑ロード（1～3 月）

鴨川市観光協会、鴨川温泉旅館業協同組合、その他交通事業者等と連携し、上記観光資源を活用した旅行商品の造成・販売に取り組んでいる。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

【旅館・ホテル】
域内分布：主に海岸線沿いを中心に立地
施 設 数：３８施設
収容人員：約５，４００名
施設規模：１５～８００名/施設

【民宿・ペンション】
域内分布：主に海岸線沿いを中心に立地
施 設 数：３４施設
収容人員：約６８０名
施設規模：７～４８名/施設

【農家民宿・農家民泊】
域内分布：山間地（長狭地区）に立地
施 設 数：６施設
収容人員：５０名
施設規模：６～１８名/施設

【利便性：区域までの交通、域内交通】

【区域までの交通】
（都心から８０km）
電車（ＪＲ外房線・特急）：約２時間
バス（高速バス・アクシー号）：約２時間
自家用車（東京湾アクアライン・館山自動車道経由）：約１時間３０分

【域内交通】
公共交通機関：ＪＲ外房線・内房線、路線バス、コミュニティバス
その他：タクシー、観光タクシー、レンタカー、レンタサイクル

【外国人観光客への対応】

本法人では、自社サイト「Visit Kamogawa」において英語並びに中国語（繁体字）、関東運輸局運営サイト「Excursions Beyond Tokyo」において英語による情報発信を行っているほか、鴨川市が作成した外国語（英語・韓国語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)）による観光パンフレットを、各種プロモーションの機会に活用している。
また、主要な観光・宿泊事業者は千葉県による補助事業を活用し、施設内において Wi-fi の利用可能な環境が整っているほか、体験事業者に対して必要な場合は本法人が所有する翻訳機の貸し出しを行っている。
これらによって、法人では市内の各種事業者とともに、国が推進している海外との交流事業「対日理解促進交流プログラム」や「「日中植林・植樹国際連帯事業」、一般社団法人外国人留学生支援が推進している「KAKEHASHI」等に伴う訪日団の受け入れを行っている。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	観光入込客数・宿泊客数調査を市からの委託事業として実施。 併せて千葉県観光入込調査報告書を参照。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	観光入込客数・宿泊客数調査を市からの委託事業として実施。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	インターネットアンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	インターネットアンケート調査を自主事業として実施。
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	Google アナリティクスを活用して実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	地域住民満足度・意識調査を自主事業として実施。

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

千葉県鴨川市では、人口減少と就業者の高齢化が加速し、就業者数や事業所数が減少傾向にあり、生産年齢人口の流出を防ぐこと、次世代への事業承継を促進することなどが課題となっている。こうした地域の課題に対し、鴨川市第４次５か年計画（令和３年～）の将来都市像にもある「活力あふれる健やか交流のまち鴨川」を目指し、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加を図ること、ひいては地域の稼ぐ力を向上させること、地域における経済循環を促進することが求められている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ・豊かな自然（海・山） ・上質な受入環境 ・大規模な観光施設の立地 ・高度な技術を有する医療産業の立地	弱み（Weaknesses） ・生産年齢人口の減少 ・次世代の担い手不足 ・事業承継の遅れ
外部環境	機会（Opportunity） ・国による地方創生施策の強化 ・自然志向のムーブメント ・マスコミ等への露出	脅威（Threat） ・他地域とを繋ぐ公共交通の利便性悪化 ・気候変動による様々な影響 ・地域コミュニティの衰退 ・生活弱者の増加

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層 首都圏のファミリー層
○選定の理由 県内でも有数の集客力を誇る観光施設が存在していること。多くの宿泊施設等が施設の高付加価値化に取り組み、高い満足度を得ることが可能な受入環境が整備されていること。 ○取組方針 インターネットアンケート調査等により来訪者の満足度や要望事項を把握し、リピーターの確保を図る。集客力のある観光施設、宿泊施設とその他の関連事業者との連携を強化し、滞在時間の延長を図るとともに経済循環を促す。
○第２ターゲット層 首都圏の富裕層、シニア層
○選定の理由 高度な先進技術を有する大規模な総合病院が存在し、安心して長期滞在することが可能な環境であること。多くの宿泊施設等が施設の高付加価値化に取り組み、富裕層の誘客に耐え得る受入環境が整備されていること。 ○取組方針 インターネットアンケート調査等により来訪者の満足度や要望事項を把握し、リピーターの確保を図る。集客力のある観光施設、宿泊施設とその他の関連事業者との連携を強化し、滞在時間の延長を図るとともに経済循環を促す。
○第３ターゲット層 国内外からの教育旅行客
○選定の理由 県内でも有数の農家民泊、農業体験、その他各種体験事業者が集積し、受入の経験及び実績も備えていること。 ○取組方針 農家民泊とその他の体験あるいは学校交流等を組み合わせて滞在時間の延長を図り、宿泊を伴う教育旅行の受け入れを伸ばす。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	心と身体が満たされる癒しのリゾート鴨川 「都会ときどき鴨川」

②コンセプトの考え方	観光コンセプトの設定に当たって、鴨川らしさを網羅することと、こうあるべきという鴨川市の観光の将来像を明確に見据えることを前提に協議を進めた。 「リピート」「疲れを癒す」「リフレッシュ」「リセット」「住みやすい」「落ち着く」「風」「自然」など様々なキーワードが出され、これらのイメージを集約したものをコンセプトとしている。 なお、「リゾート」という言葉については「長期滞在」あるいは、何度も訪れる「リピート」「リピーター獲得」を目指す言葉として採用することとした。 また、このコンセプトを観光客の心に届けるため、キャッチコピーを設定し、観光パンフレットやポスター及びスタッフシャツにも盛り込み、浸透を図っている。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	鴨川観光プラットフォーム評議委員会 （地域の関連事業団体 19 団体により構成）
	本法人が事務局を務める評議委員会を設立し、ワーキンググループとして活動している。年に４回開催している評議委員会は、本法人の事業内容について説明し戦略を共有するほか、地域の関係者から幅広く意見を伺い、事業推進のための合意形成機関としての役割を果たしている。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	地域内の観光事業者向け専用サイト「観光産業インフォメーション」を開設し、国や県などからの各種情報を配信し、最新の観光情報を共有。 本法人が実施するインターネットアンケート調査における満足度等の結果を共有し、観光客に提供するサービスの維持向上を図っている。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	本法人が開設した観光情報サイト「カモ旅」並びに旅ナカ情報サイト「カモ旅 Plus」のほか各種ＳＮＳにおいて、観光協会その他の関係団体と情報を共有したうえで、幅広く情報発信を行っている。 また、行政が企画したイベントについては、本法人のほか観光協会など各種団体が参加する実行委員会を組織し運営にあたっており、その中で本法人は情報発信及びプロモーションについて、中心的な役割を果たしている。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	25,000	27,000	40,000	41,500	43,000	44,500
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	31,093	38,422	40,083			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	550	650	800	830	860	890
		(2.5)	(2.0)	(4.0)	(4.5)	(5.0)	(5.5)
	実績	718	774	769			
		(0.8)	(3.8)	(6.8)			
●来訪者満足度（%）	目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	97.5	96.6	96.4			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●リピーター率（%）	目標	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	80.5	85.2	82.0			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
鴨川市商工観光課とともに過去の統計情報を分析し、統計指標変化率を把握するため市場動向が反映されるとともに定量的判断が可能な項目を設定した。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
地域により大きな経済効果をもたらす指標として、「１人当たりの消費額」の項目を設定した。
観光庁の補助事業を活用し、宿泊・観光施設の高付加価値化に取り組むこととした。
●延べ宿泊者数
宿泊・観光施設の高付加価値化に取り組むことによって「非日常」「癒し」といった付加価値の向上を図り、滞在時間の延長、ひいては宿泊者数の増加に取り組むこととした。
●来訪者満足度
来訪者を対象としたインターネットアンケートを実施し、宿泊施設、観光施設、食事・飲食、物販・お土産、情報収集、自然景観等の項目ごとに満足度を調査。集計結果を分析し評議委員会にて報告のうえ、満足度の向上に取り組むこととした。
●リピーター率
宿泊・観光施設の高付加価値化に取り組むことによって「非日常」「癒し」といった付加価値の向上を図り、滞在時間の延長、ひいてはリピーター率の向上に取り組むこととした。

様式１

（２）その他の目標

指標項目		2022 （Ｒ４） 年度	2023 （Ｒ５） 年度	2024 （Ｒ６） 年度	2025 （Ｒ７） 年度	2026 （Ｒ８） 年度	2027 （Ｒ９） 年度
●「カモ旅」「カモ旅 Plus」他のアクセス数（PV 数）	目標	700,000	750,000	700,000	700,000	700,000	700,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	729,798	651,639	551,080			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●住民満足度（%）	目標	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	89.1	77.4	87.1			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

「カモ旅」「カモ旅 Plus」他のアクセス数（PV 数）

【検討の経緯】

過去に実施したインターネットアンケート調査によると、観光情報の収集に関する項目についての満足度が振るわなかった事を受けて、ウェブサイトの大幅な変更とスタッフの増強を実施した。また、ウェブサイトへの掲載情報の充実を図るとともに、併せてＳＮＳ等により情報配信を強化することとし、指標項目として設定した。

【設定にあたっての考え方】

旅マエ情報サイトとして「カモ旅」、旅ナカ情報サイトとして「カモ旅 Plus」、観光関連事業者向け情報サイトとして「観光産業インフォメーション」を構築。
「カモ旅」には、宿泊施設予約機能を持たせ、合わせて長期的な観光情報を掲載。
「カモ旅 Plus」には、直近のイベントや飲食に関する情報、その他、目的別に情報を掲載。
「観光産業インフォメーション」には、統計情報や観光庁からの配信情報を観光事業者向けに配信。
各配信情報毎のアクセス数（PV 数）を随時収集・分析の上、関心の高い検索ワードや話題等を盛り込んだ情報配信を実施。
また、プレス・ニュースリリース配信サイトを活用し、年間を通してのアクセス数向上に繋げることとした。

住民満足度（%）

【検討の経緯】

観光客の受入れ増加を目指す際に、地域住民の理解と協力が必要不可欠と考える。この為、観光受入れ施策として、住民への理解促進を目的とした情報配信を同時並行で実施。また、状況把握のため、定期的に満足度を調査し今後の対策に反映させることとした。

【設定にあたっての考え方】

観光客の増加に伴い道路の混雑やゴミの増加等が発生し、市民生活から見たマイナス要素の増加は事前に推測できる。対策できる内容は随時対応の上、市民宛てに報告や説明を実施。インフラ等に関しては、その改善に向けての根拠となる情報を数値化し、説明できる環境を整える事で住民のご理解に繋げ、「住んでよし、訪れてよし」の「持続可能な観光地」を目指すこととした。

様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	266,953,756（円）	【国からの補助金】	4,923,000 円
		【市町村からの補助金】	49,971,893 円
		【公物管理受託】	2,058,000 円
		【収益事業】	210,000,863 円
		【特定財源】	0 円
2023（Ｒ５）年度	124,756,655（円）	【国からの補助金】	5,000,000 円
		【市町村からの補助金】	12,000,000 円
		【公物管理受託】	2,317,920 円
		【収益事業】	105,438,735 円
		【特定財源】	0 円
2024（Ｒ６）年度	105,036,000（円）	【国からの補助金】	0 円
		【市町村からの補助金】	12,000,000 円
		【公物管理受託】	0 円
		【収益事業】	93,036,000 円
		【特定財源】	0 円
2025（Ｒ７）年度	110,999,000（円）	【市町村からの補助金】	12,000,000 円
		【公物管理受託】	0 円
		【収益事業】	98,999,000 円
		【特定財源】	0 円
2026（Ｒ８）年度	115,949,000（円）	【市町村からの補助金】	12,000,000 円
		【公物管理受託】	0 円
		【収益事業】	103,949,000 円
		【特定財源】	0 円
2027（Ｒ９）年度	121,146,000（円）	【市町村からの補助金】	12,000,000 円
		【公物管理受託】	0 円
		【収益事業】	109,146,000 円
		【特定財源】	0 円

様式１

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	252,847,563（円）	【一般管理費】	57,416,462 円
		【情報発信・プロモーション】	38,577,598 円
		【受入環境整備等の着地整備】	0 円
		【コンテンツ開発】	9,968,500 円
		【マーケティング】	169,622 円
		【観光イベントの開催費】	0 円
		【仕入原価】	146,715,381 円
2023（Ｒ５）年度	120,852,273（円）	【一般管理費】	56,892,240 円
		【情報発信・プロモーション】	3,163,395 円
		【受入環境整備等の着地整備】	0 円
		【コンテンツ開発】	5,900,000 円
		【マーケティング】	248,118 円
		【観光イベントの開催費】	0 円
		【仕入原価】	54,648,520 円
2024（Ｒ６）年度	103,380,980（円）	【一般管理費】	50,122,767 円
		【情報発信・プロモーション】	3,475,300 円
		【受入環境整備等の着地整備】	0 円
		【コンテンツ開発】	0 円
		【マーケティング】	264,592 円
		【観光イベントの開催費】	0 円
		【仕入原価】	49,518,321 円
2025（Ｒ７）年度	110,991,000（円）	【一般管理費】	52,911,000 円
		【情報発信・プロモーション】	3,300,000 円
		【受入環境整備等の着地整備】	0 円
		【コンテンツ開発】	0 円
		【マーケティング】	300,000 円
		【観光イベントの開催費】	0 円
		【仕入原価】	54,480,000 円
2026（Ｒ８）年度	115,940,000（円）	【一般管理費】	55,136,000 円
		【情報発信・プロモーション】	3,300,000 円
		【受入環境整備等の着地整備】	0 円
		【コンテンツ開発】	0 円
		【マーケティング】	300,000 円
		【観光イベントの開催費】	0 円
		【仕入原価】	57,204,000 円
2027（Ｒ９）年度	121,146,000（円）	【一般管理費】	57,482,000 円
		【情報発信・プロモーション】	3,300,000 円
		【受入環境整備等の着地整備】	0 円
		【コンテンツ開発】	0 円
		【マーケティング】	300,000 円
		【観光イベントの開催費】	0 円
		【仕入原価】	60,064,000 円

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

第２種旅行業の資格を有する当該法人は、地域の観光関連事業者と連携した着地型旅行商品（ふるさと納税返礼品としての宿泊券や観光券）の造成・販売、農家民泊や市内の体験プログラムを活用した教育旅行、研修旅行等の受入れなどを通じて、事業売上や手数料収入を得るほか、鴨川市のふるさと納税業務及び委託事業収入を、自律的・継続的な活動資金として確保する。
さらに、千葉県並びに鴨川市が導入に向けて準備を進めている宿泊税について、当該法人の自律的・継続的な活動資金として確保することを目指し、県並びに市との協議を行っていく。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

千葉県鴨川市は、鴨川観光プラットフォーム株式会社が本市における地域ＤＭＯとして提出する観光地域づくり法人形成･確立計画に関して、当社と連名にて申請致します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複なし

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	嶋津彰一
担当部署名（役職）	鴨川観光プラットフォーム株式会社（ＤＭＯ企画部門長）
郵便番号	296-0001
所在地	千葉県鴨川市横渚１４５９－５
電話番号（直通）	０４－７０９３－２４６１
ＦＡＸ番号	０４－７０９３－２４６２
Ｅ－ｍａｉｌ	pf-office@kamotabi.co.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	千葉県鴨川市
担当者氏名	早瀬　努
担当部署名（役職）	鴨川市商工観光課（係長）
郵便番号	296-8601
所在地	千葉県鴨川市横渚１４５０番地
電話番号（直通）	０４－７０９３－７８３７
ＦＡＸ番号	０４－７０９３－７８５６
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@city.kamogawa.lg.jp

様式１

（登録）【地域DMO】鴨川観光プラットフォーム株式会社

様式2

記入日：　令和　7年　7月23日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
千葉県鴨川市
【設立時期】 平成29年11月21日
【設立経緯】
④その他
【代表者】 鈴木健史
【マーケティング責任者（CMO）】 田村美和子
【財務責任者（CFO）】 刈込信道
【職員数】 15人（常勤10人（正職員8人・嘱託2人）、非常勤5人）
【主な収入】
収益事業　93百万円、　委託事業　12百万円（2024年度決算）
【総支出】
事業費　103百万円、一般管理費　50百万円（2024年度決算）
【連携する主な事業者】
・鴨川市観光協会　・鴨川市商工会　・鴨川温泉旅館業協同組合
・大山千枚田保存会　・JR安房鴨川駅　・千葉銀行鴨川支店
・亀田総合病院　・日東交通　・鴨川市役所

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	25,000（　）	27,000（　）	40,000（　）	41,500（　）	43,000（　）	44,500（　）
	実績	31,093（　）	38,422（　）	40,083（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	550（　）	650（　）	800（　）	830（　）	860（　）	890（　）
	実績	718（0.8）	774（3.8）	769（　）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	95.0（　）	95.0（　）	95.0（　）	95.0（　）	95.0（　）	95.0（　）
	実績	97.5（　）	96.6（　）	96.4（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	85.0（　）	85.0（　）	85.0（　）	85.0（　）	85.0（　）	85.0（　）
	実績	80.5（　）	85.2（　）	82.0（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
国内ターゲット層（リピーターやステイヤー）
南関東地域に住む小学生以下の子どもがいる家族連れ
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
既に再来訪の割合は高いが、アンケート調査等から、更なる来訪頻度の向上につながる要因を分析し、その結果を踏まえ、コンテンツの増強と対象者への情報発信力の強化を図る
【観光地域づくりのコンセプト】
心と身体が満たされる癒しのリゾート鴨川
※キャッチコピー：都会ときどき鴨川

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・着地型旅行商品の企画立案
商品開発、宣伝広告及び販売業務
国内外の宿泊体験プランの企画
・市内加盟宿泊施設（32施設）に関して
自社予約サイト運営
・インバウンドの受入れ
台湾観光協会視察団受け入れ
インバウンド教育旅行の受入れ
【受入環境整備】
観光施設「太海磯釣りセンター」及び隣接する駐車場の運営

【情報発信・プロモーション】
・旅マエ情報サイト「カモ旅」
旅ナカ情報サイト「カモ旅plus」
観光事業者向け情報サイト
「観光産業インフォメーション」運営
【その他】
・2021年から観光庁の高付加価値化補助事業に公募・採択を受け、施設の高付加価値化改修を推進
総事業費：3,650,000,000円
・市内宿泊・観光施設の入込み調査実施